

セカンドスクール活動例（センター利用）

秋田県埋蔵文化財センター

1 活動メニュー

(1) 土器・石器体験（60分）

・5～7人のグループに分かれます。

- ①縄文時代の衣食住について、写真資料などで簡単に学習（復習）します。
- ②本物の石器を手にとって観察し、その特徴などから、種類や用途を予想します。
- ③具体的な使用例や解説などから、石器の名称や使い方を学習します。
・実際に石器を使って紙を切ってみます。（時間に余裕がある場合）
- ④本物の縄文土器を手にとって、大きさや形、文様などを観察し、どんな使い方をしたか考えます。
- ⑤土器について解説を聞き、作り方や使い方を学習します。
- ⑥縄文土器の文様はどのようにして付けられたか、道具を使い、いろいろな縄文を粘土の上に付けてみます。

(2) 展示見学（20～40分）

- ①常設展示の土器や石器を見たり、解説を聞いたりして、土器・石器体験の学習の成果を確かめます。
- ②企画展を見学し、今後の歴史学習の参考にします。
・自分たちで展示を見て回り、いろいろ調べたり記録したりします。（希望により）
- ③学校での学習を含め、これまでの歴史学習をふり返り、疑問点や興味のあることについて質問します。

(3) 石器づくり体験（40～60分）

- ①土器・石器体験や展示見学をふり返り、石器の種類や使い方について復習します。
- ②石器づくりをすすめる手順と注意点を学習します。
- ③縄文時代と同じ石材、道具、方法で石器づくりに挑戦します。
- ④個別にアドバイスを受け、石材の大きさや形に合った石器を完成させます。
- ⑤石器づくりから、縄文時代の人々の苦労や知恵について学習します。

(4) 整理作業室・収蔵庫の見学（10～20分）

- ①整理作業室を見学し、埋蔵文化財センターの仕事について学習します。
- ②収蔵庫を見学し、遺跡出土品の保存・管理について学習します。
- ③収蔵庫の展示コーナーを見て、これまでの歴史学習の参考にします。

(5) 史跡払田柵跡の見学(60分)

- ・大仙市に払田柵跡ボランティアガイドさんの案内をお願いした場合
- ①総合案内所の解説ビデオを見て、払田柵跡の歴史的背景を学習します。
- ②総合案内所の展示を見学し、史跡の概要について学習します。
- ③実際に史跡を案内してもらい、古代城柵の大きさや構造、各建物の特徴や役割、これまでの調査や保存活動の歴史などについて学習します。

2 活動の実際

(1) 活動計画

- ①埋蔵文化財センター及び払田柵跡の滞在時間に応じて、上記メニューを選択し、組み合わせを考えます。
- ②土器・石器体験が基本メニューになりますので、時間により他の活動をプラスしていきます。
- ③午前中利用の例
 - 土器・石器体験60分→展示見学30分(滞在時間90分)
 - 土器・石器体験60分→展示見学20分→石器づくり40分(滞在時間120分)
 - 土器・石器体験60分→展示見学30分→石器づくり60分(滞在時間150分)
 - 土器・石器体験60分→展示見学30分→払田柵跡60分(滞在時間150分)
 - など
- ④午前・午後利用の例
 - 土器・石器体験→展示見学→石器づくり→昼食・休憩60分→払田柵跡
 - 払田柵跡→土器・石器体験→展示見学→昼食・休憩60分→石器づくり
 - など

(2) 留意点

- ①利用目的や学習目標により、メニューの組み合わせ、時間配分は選択自由です。
- ②昼食・休憩はセンターで取れます。天候がよければ払田柵跡でも取れます。
- ③払田柵跡ボランティアガイドさんの案内を頼む場合は、学校から大仙市仙北支所市民サービス課(0187-63-3003)に日時・人数等の予約をお願いします。